



沖縄観光のあゆみ

本土復帰50周年記念誌

History

年表と写真で見る「沖縄観光」のあゆみ

1941年 ≫ 1971年 沖縄本土復帰前まで

1954 [昭和29年]

- ジュネーブ会議
- 日本航空(JAL)羽田-那覇線 開設



提供: 日本航空

1958 [昭和33年]

- 東京タワー 設立
- ヨーロッパ経済共同体(ECC) 結成
- B円からドルへ通貨切替



提供: 那覇市歴史博物館

- 沖縄ツーリスト株式会社 設立



提供: 沖縄ツーリスト株式会社

1962

[昭和37年]

- 首都高速道路 1号線 開通
- キューバ危機

1955 [昭和30年]

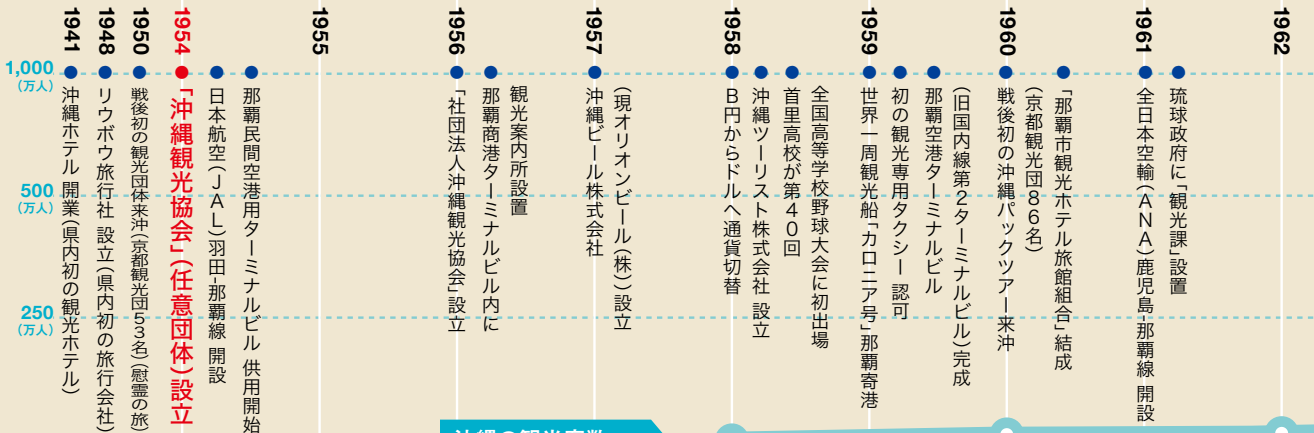
- 西ドイツ NATO加盟

1954

1960

History of Okinawa

1941 ≫ 1962



1945 [昭和20年]

- 第二次世界大戦終戦

1941 [昭和14年]

- 沖縄ホテル 開業 (県内初の観光ホテル)



提供: 有限会社沖縄ホテル

1956

[昭和31年]

- 日本国際連合 加盟
- 日ソ国交回復

1959 [昭和34年]

- 皇太子さま、美智子さまご結婚
- 安保闘争
- キューバ革命

- 世界一周観光船「カロニア号」那覇寄港



提供: 沖縄県公文書館

1961

[昭和36年]

- ドイツベルリンの壁建設
- 全日本空輸(ANA) 鹿児島-那覇線 開設



提供: 全日本空輸

1905 [明治38年]

- 日本旅行創業 (国内初の旅行社)

1960 [昭和35年]

- ローマ五輪
- OPEC結成

※主な動きのみを掲載しています

1963 [昭和38年]

● 第1回 名護さくら祭り



提供:沖縄県公文書館

1965 [昭和40年]

- 日韓基本条約 締結
- ベトナム戦争

1968

[昭和43年]

- 小笠原諸島 日本復帰

1969

[昭和44年]

- ジャンボジェット機 登場
- アポロ11号月面着陸

1970 [昭和45年]

- 日本万国博覧会(大阪万博)開催
- 初の国産人工衛星打ち上げ成功
- よど号ハイジャック事件
- 核拡散防止条約 発効

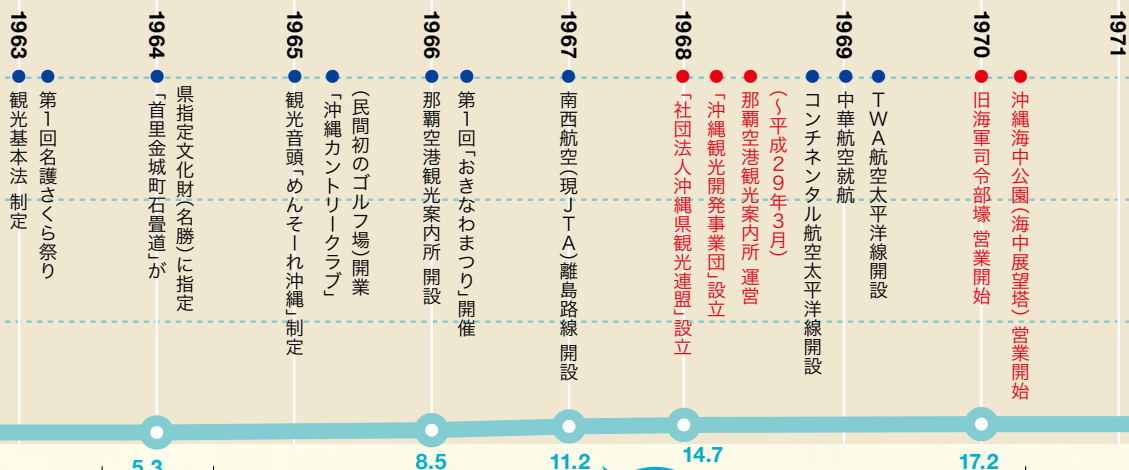
● 旧海軍司令部壕 営業開始



● 沖縄海中公園(海中展望塔) 営業開始



1970



History of Okinawa

1963
≡
1971

1966 [昭和41年]

- いざなぎ景気(～昭和45年)
- ザ・ビートルズ 来日
- 中国文化大革命

● 第1回「おきなわまつり」開催



提供:沖縄県公文書館

1964 [昭和39年]

- 東海道新幹線 開通
- 東京オリンピック・パラリンピック 開催
- 海外渡航自由化

年計
10万人を
突破!

1967 [昭和42年]

- 公害対策基本法 制定
- 第三次中東戦争
- 東南アジア諸国連合(ASEAN)設立
- ヨーロッパ共同体(EC)発足
- 南西航空(現JTA)離島路線開設



提供:日本トランスオーシャン航空

1971 [昭和46年]

- 沖縄返還協定 調印
- 中華人民共和国 国連参加

※1971年までの観光客数は
暦年で表示しています。

1972年 » 1987年

本土復帰後～観光地沖縄としての認知度UPの時代

1972 [昭和47年]

- 札幌五輪 ● 日中国交正常化
- ニクソン訪中、共同声明発表 ● ウォーターゲート事件

● 沖縄本土復帰



提供: 沖縄県公文書館

● ドルから円への通貨交換



提供: 那覇市歴史博物館

● ANA初の沖縄キャンペーン「キラキラ沖縄」



提供: 全日本空輸

● 観光鍾乳洞「玉泉洞」オープン



提供: 株式会社南都

1977

[昭和52年]

- 日本初の静止衛星打ち上げ成功
- JAL初の沖縄キャンペーン「Let's Kiss the sun」



提供: 日本航空

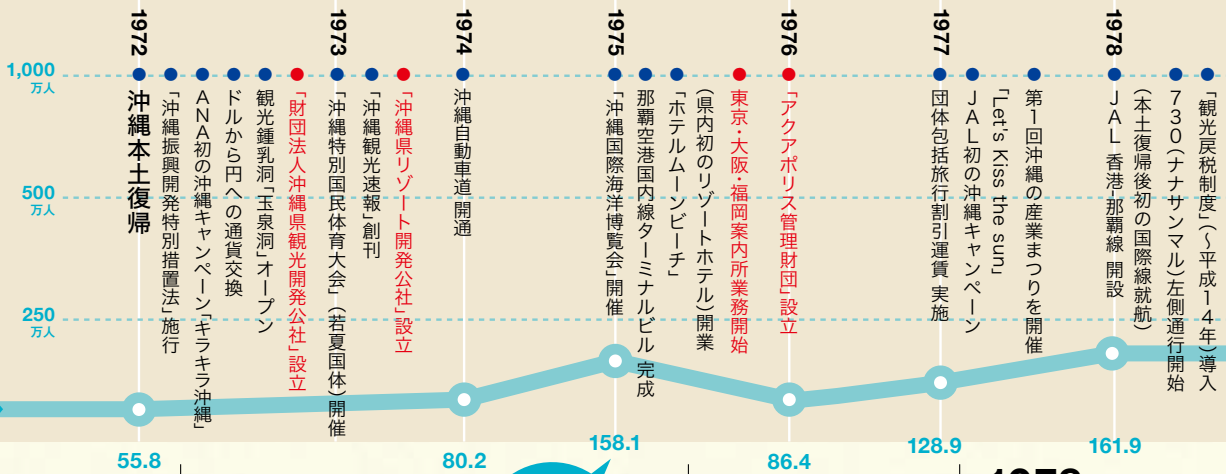
1974 [昭和49年]

- 佐藤元首相 ノーベル平和賞受賞

1972

History of Okinawa

1972
≡
1978



1975 [昭和50年]

- ベトナム戦争 終結
- 「沖縄国際海洋博覧会」開催



『写真集那覇百年のあゆみ』より
提供: 那覇市歴史博物館

年計
158万人
(初の100万人
超え)

1976 [昭和51年]

- ロッキード事件



海洋博PR団出発式(1974年)
提供: 沖縄県公文書館

● 「ホテルムーンビーチ」(県内初のリゾートホテル)開業



提供: 株式会社 国建

1978 [昭和53年]

- 日中平和友好条約 調印
- 新東京国際空港 開港
- JAL香港-那覇線 開設 (本土復帰後初の国際線就航)



1955年ポスター 提供: 日本航空

● 730(ナナサンマル)左側通行開始



提供: 那覇市歴史博物館

1979 [昭和54年]

- 東京サミット
- 第二次オイルショック
- ソ連 アフガニスタン侵攻
- 米中国交 樹立

1981 [昭和56年]

- ローマ法王初来日
- ミス沖縄選出開始



1982 [昭和57年]

- 東北新幹線開通
- テレホンカード登場

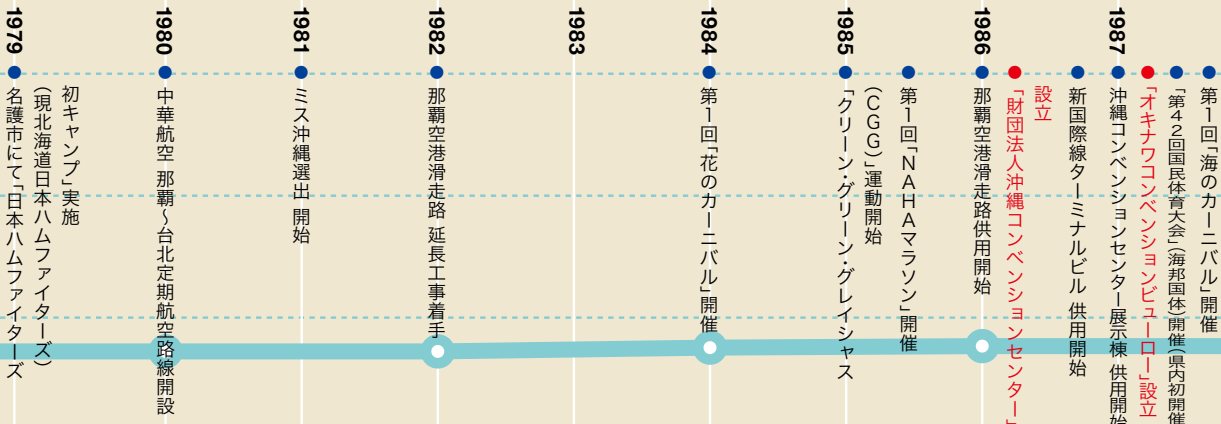
1984 [昭和59年]

- 新札発行(1万円、5千円、千円)
- 第1回「花のカーニバル」開催



1987年ポスター

1980



History of Okinawa

1979
≡
1987

181.0

1983 [昭和58年]

- ロッキード事件 田中元首相に 実刑判決

1980 [昭和55年]

- イラン・イラク戦争

188.5

1986 [昭和61年]

- チャールズ皇太子 ダイアナ妃来日
- チェルノブイリ 原発事故

1985 [昭和60年]

- プラザ合意
- つくば科学万博

210.4

1987 [昭和62年]

- テンミリオン計画(5年以内に日本人の 海外渡航者数を1000万人にするという目標)
- 沖縄コンベンションセンター展示棟供用開始



- 「第42回国民体育大会」(海邦国体)開催(県内初開催)



提供:那覇市歴史博物館

1988 [昭和63年]

- イラン・イラク戦争 停戦
- 第1回「サントピア沖縄」開催



提供:2002年ポスター

1989 [昭和64年/平成元年]

- 消費税3%開始
- 冷戦終結宣言
- 天安門事件
- ベルリンの壁崩壊

- 全日本空輸(ANA)那覇-石垣線 開設



提供:全日本空輸

- 第1回「ツール・ド・おきなわ」開催



提供:NPO法人ツール・ド・おきなわ協会

1992 [昭和62年]

- 「首里城公園」開園



提供:首里城公園

- アシアナ航空
那覇~ソウル定期航空路線開設



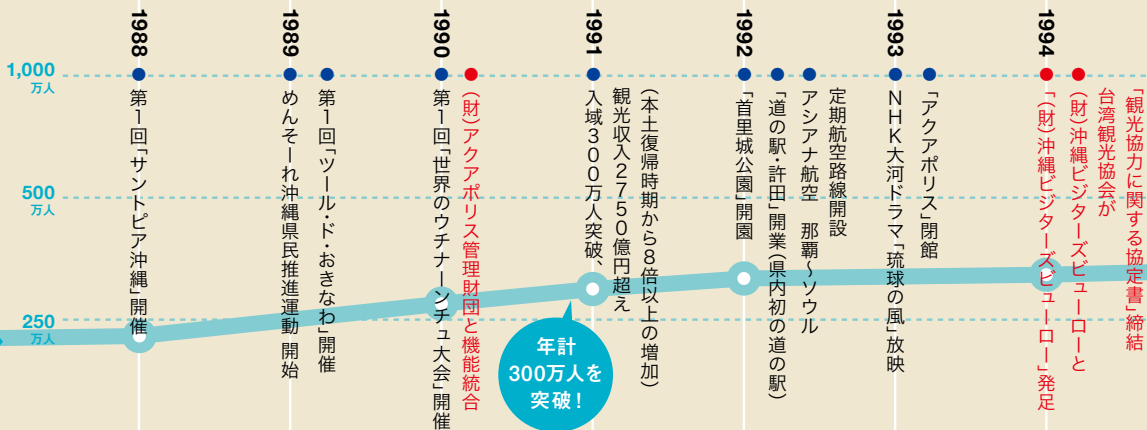
提供:アシアナ航空

1990

History of Okinawa

1988 ≫ 1994

沖縄の観光客数 (万人)



241.1

1990 [平成2年]

- 日本人初の宇宙飛行
- 東西ドイツ統合
- 第1回「世界のウチナーンチュ大会」開催



提供:沖縄県

1993 [平成5年]

- 皇太子さま・雅子さまご結婚
- レインボーブリッジ 開通
- 欧州連合(EU) 設立

1991 [平成3年]

- バブル経済 崩壊
- ゴルバチョフ大統領初来日
- 湾岸戦争
- ソ連邦解体、ロシア連邦成立

1994 [平成6年]

- 松本サリン事件
- 北海道東方沖地震
- (財)沖縄ビクターズビューローと台湾観光協会が「観光協力に関する協定書」締結



1996 [平成8年]

- 日米安保共同宣言

1997 [平成9年]

- 消費税5%
- 香港返還

1998 [平成10年]

- 長野オリンピック

1999 [平成11年]

- ITバブル
- 那覇空港国内線新旅客ターミナルビル落成



提供:那覇空港ビルディング株式会社

2003 [平成15年]

- イラク戦争
- SARS猛威
- 沖縄都市モノレール全線開業

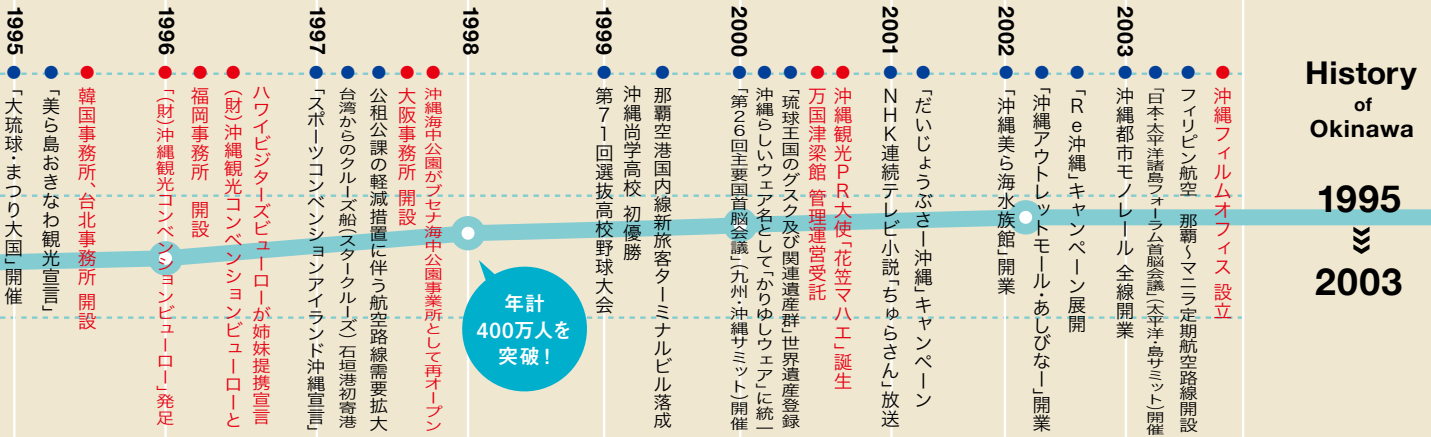


提供:沖縄県



提供:沖縄都市モノレール株式会社

2000



History of Okinawa

1995
≡
2003

1995 [平成7年]

- 阪神淡路大震災
- 地下鉄サリン事件
- 「美ら島おきなわ観光宣言」

美ら島おきなわ観光宣言

ここ沖縄は、古代からアジア大陸と海洋上に連なる多くの国々を結ぶ十字路であり、東西南北の文化や業が交差し、時として、諸国の激動する歴史が鮮しい試練を与えてきた。その中にあって人も文化も、激動の気運をもって異文化と接し、それを受け入れ、しかし、自らを失わず高めあうことによつて、豊かである伝統文化を創出した。

人間の豊かさとやさしさを見続けてきたサンゴの海神々の祝福のもとに豊かな自然文化を築んで来た島々よ！ 清ら、爽け！ 美らさ と懐えられたこの美しい風土豊饒の海に風が吹く、常緑の大地に草木は舞う生きとし生けるものの上に、太陽は輝きおだやかに時間は流れる

いつの時代にも私たちの先人は、しなやかに、したたかに生きてきた。私どもは、この地に生きて来たことを心にし、心と心のもつれあいを大切に、何より生命をいとむ。

ここは実業と海の恵みにもあふれ人がやさしくなれる緑したる農業島天に響む三線打ち鳴らす大鼓大鼓を奏する運動場の足ら勇壮あふれる空手や空手道、ハーリー、綱引きそして 華麗堂々の王冠文化おもむきも朝顔開運 健康いっぴい 長寿万歳

私たちは、この豊かな自然と独特の歴史・文化の恵みを受け、新しい世紀に向けて自立の精神をたくみ、夏陽と共生の社会をめざす。あつて、発展もって万国の津島として先人に学び、観光をもつて平和・友好の架け橋となし、道義の心に導かれた、住みよい豊かな美ら島おきなわづくりに努めることを新たに決意し、ここに宣言する。

1995年10月1日 沖縄県知事大田昌秀

2000 [平成12年]

- 2000円札発行
- 「第26回主要国首脳会議(九州・沖縄サミット)」開催



提供:首里城公園

2002 [平成14年]

- 学校週5日制 導入 ● 日韓ワールドカップ
- 北朝鮮拉致被害者 帰国
- アフリカ連合 発足 ● EURO発足
- 「沖縄美ら海水族館」開業



提供:国営沖縄記念公園(海洋博公園)・沖縄美ら海水族館

2001 [平成13年]

- アメリカ同時多発テロ
- アフガニスタン紛争
- 「だいじょうぶさー沖縄」キャンペーン



提供:日本トランスオーシャン航空

2005 [平成17年]

- 郵政民営化
- 「日本国際博覧会」(愛・地球博)開催
- 中部国際空港 開港

2006

[平成18年]

- 神戸空港 開港
- ライブドアショック
- 観光タクシー乗務員資格認定制度 開始



2007 [平成19年]

- 新潟県中越沖地震
- 能登半島地震
- 「沖縄観光バリアフリー」宣言

沖縄 観光バリアフリー宣言
～誰もが楽しめる、やさしい観光地を目指して～

沖縄県は、高齢の方や障がいのある方、妊娠されている方、小さなお子様を連れての方、外国の方はもちろん、本県に来訪されるすべてのの方々、そしてすべての県民、誰もが楽しめる、やさしい観光地を目指しています。その実現に向けて、次に掲げる観光のバリアフリー化に、強力に取り組んでいきます。

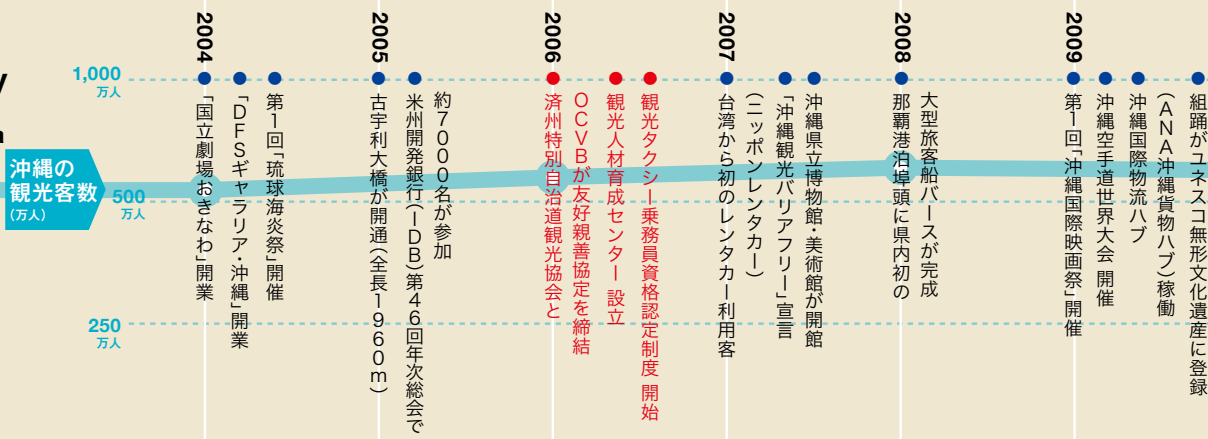
- 1 私たちは、美しい海と豊かな自然、独自の文化など沖縄の魅力をいつでも、誰でも楽しめるように、移動のバリア、情報のバリア、言葉のバリア、心のバリアなどすべてのバリアを取り除くことに取り組んでいきます。
- 2 私たちは、様々なバリアの存在について理解を深め、それをなくすためには、どうすればよいか、みんなで考えていきます。
- 3 私たちは、行政や観光に関わる者だけでなく、すべての県民が手を携え、できることから1つずつバリアを取り払っていきます。

以上、ここに宣言します。

平成19年2月14日
沖縄県知事 伊波普猷彦

History of Okinawa

2004
≡
2009



2004 [平成16年]

- 新潟県中越地震
- 日朝首脳会談
- 「国立劇場おきなわ」開業



提供:国立劇場おきなわ

- 「DFSギャラリー・沖縄」開業



提供:沖縄ディーエフエス株式会社

2008

[平成20年]

- 第34回主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)開催
- リーマンショック

2009 [平成21年]

- 裁判員制度 開始
- 新型インフルエンザ流行
- 第1回「沖縄国際映画祭」開催



- 沖縄国際物流ハブ(ANA沖縄貨物ハブ)稼働



提供:ANA Cargo

2010 [平成22年]

- ユーロ危機

2011 [平成23年]

- 東日本大震災
- 地上デジタルテレビ放送 開始
- 国際宇宙ステーション 完成
- 若狭クルーズバス完成



提供: 那覇市

2014 [平成26年]

- デング熱 流行
- ウクライナのクリミア ロシア併合
- ISIL (ISIS) 樹立宣言

2015 [平成27年]

- 欧州難民危機
- パリ同時多発テロ
- 米キューバ 国交回復
- 伊良部大橋が開通(全長3540m)



2010

2010

- 「美ら島沖縄総体」(全国高校総体)開催

570.5

2011

- 中国人観光客向け数次ビザ発給
- 若狭クルーズバス完成
- 「沖縄科学技術大学院大学」(OIST)設立

592.4

2012

- 「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」初寄港
- 本土復帰40周年事業「日本オープンゴルフ選手権競技」
- LCC元年
- ゴルフ選手権競技

2013

- 「南ぬ島石垣空港」開港
- OCVBが財団法人から一般財団法人へ移行

716.9

2014

- 「那覇空港新国際線旅客ターミナルビル」供用開始
- 「那覇クルーズターミナル」供用開始
- 慶良間諸島国立公園に指定
- 那覇空港国際線旅客ターミナルビル観光案内所運営

2015

- 伊良部大橋が開通(全長3540m)

876.9

2016

- 香港エクスプレス航空 香港〜石垣路線開設
- 空手道競技正式種目決定
- 2020年東京オリンピックにおける沖縄県北部地域にやんばる国立公園を指定

History of Okinawa

2010
≡
2016

2012 [平成24年]

- 東京スカイツリー 開業
- 「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」初寄港



2013 [平成25年]

- 2020年 東京オリンピック・パラリンピック決定
- 「南ぬ島石垣空港」開港



年計
700万人を
突破!

2016 [平成28年]

- 北海道新幹線 開通
- イギリスEU離脱国民投票
- 台湾地震
- 2020年東京オリンピックにおける空手道競技正式種目決定



2017年 » 2022年 沖縄観光発展の推移

● 沖縄観光の動き ● OCVBの動き ● 日本の動き ● 世界の動き ※主な動きのみを掲載しています

2019 [平成31年/令和元年]

- ラグビーワールドカップ 開催
- 天皇 生前退位 年号が「令和」へ
- ノートルダム大聖堂で大火災
- 首里城火災(正殿を含む9棟)



首里城大火災の中でも奇跡的に焼け残った一対の「大龍柱」を首里城再建のシンボルとして、首里城正殿とともに中央にレイアウトし、「あの美しい首里城をもう一度」という願いを込め作成

2020 [令和2年]

- 英国がEU離脱
- 新型コロナウイルス感染症 国内で感染拡大
- 「那覇空港第2滑走路」 供用開始



PIXTA(ピクスタ)



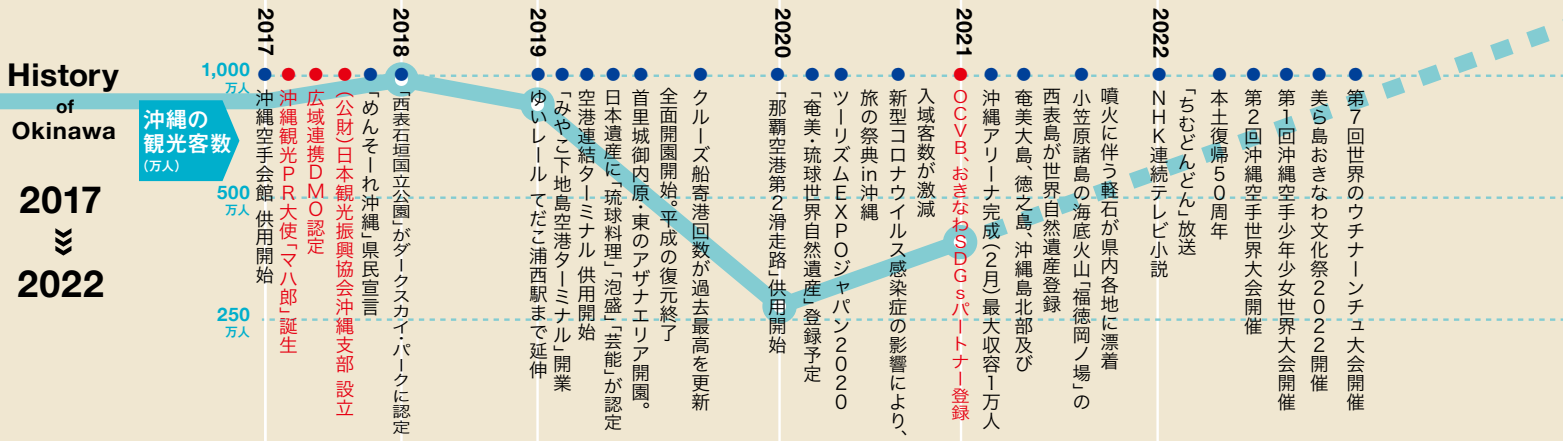
提供: 沖縄総合事務局

- ツーリズムEXPOジャパン2020 旅の祭典in沖縄



提供: ツーリズムEXPOジャパン推進室

2020



2017 [平成29年]

- 沖縄空手会館 供用開始



年計 1000万人を突破!

2018 [平成30年]

- 仮想通貨流出事件
- 大阪府北部地震
- 北海道胆振東部地震
- 麻しん流行
- 南北首脳会談
- 米朝首脳会談

2021 [令和3年]

- 東京オリンピック・パラリンピック開催
- 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産登録



提供: K.P.V.B./OCVB

2022 [令和4年]

- ロシアによるウクライナ侵攻
- NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」放送

沖縄観光の目指す将来像

「世界から選ばれる持続可能な観光地」の実現に向けて

沖縄県内への入域観光客数は、昭和47年度の55万8,593人(観光収入は暦年計で32,448百万円)から平成30年度には1,000万4,300人となり、初めて1,000万人を突破し(観光収入は年度計で734,056百万円)、順調にその数を伸ばしてきました。また、令和元年度の沖縄県における旅行・観光消費の経済波及効果は1兆1,702億円と推測され、そのうち付加価値誘発効果は5,890億円であり、県内総生産に占める割合は他地域と比較しても高い値を示しています。

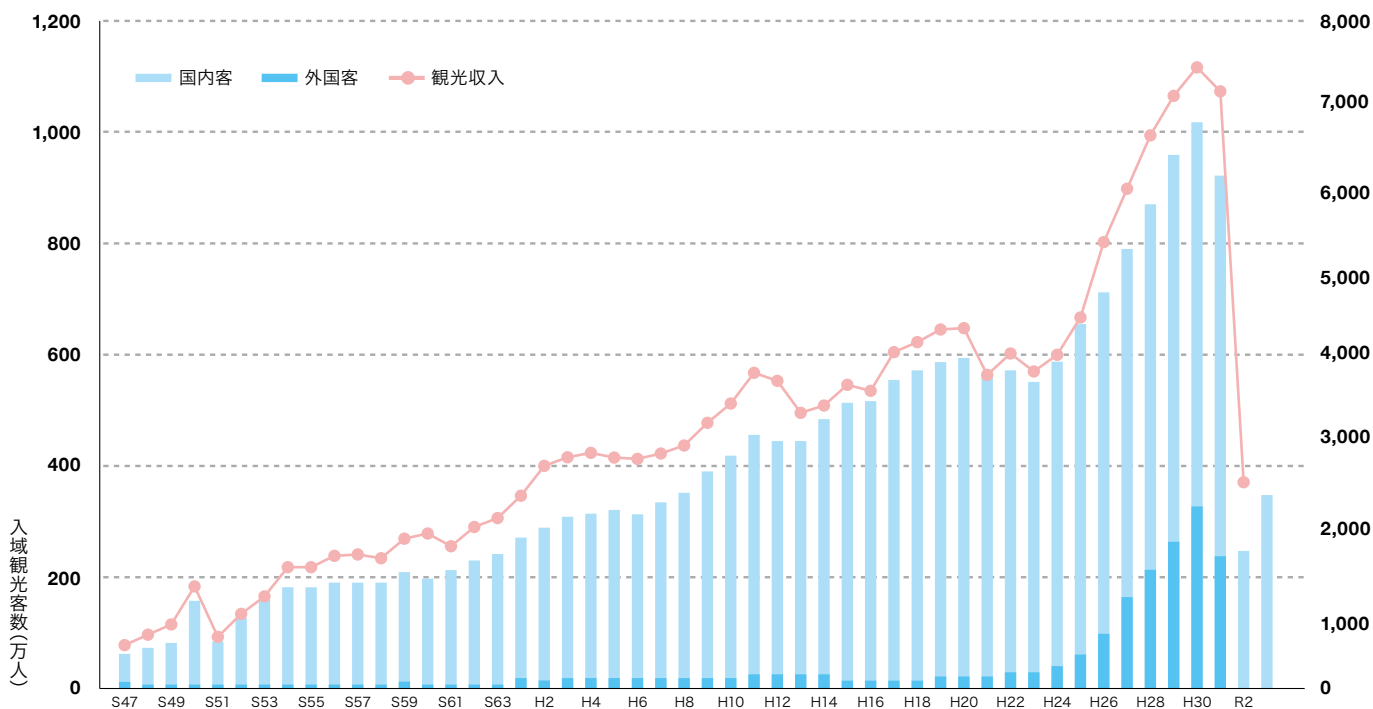
しかし、令和元年度後半から世界中で流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は非常に困難な状況下であり、令和2年度の入域観光客数は減少数、減少率ともに過去最大を記録したものの、令和3年度は327万4,300人と3年ぶりに対前年度より増加に転じています。

これまでも、沖縄県の観光産業は、新型インフルエンザなどの感染症や東日本大震災など、様々な苦難の時期を乗り越え、その都度回復してきましたが、ウィズコロナ、アフターコロナにおいては、これまでの観光のスタイルがそのまま通用するのではなく、防疫体制と受入体制を構築した上で、観光客にとって快適な地域になることが、「世界から選ばれる持続可能な観光地」になるものと考えられます。

OCVBは、県全体の観光地域づくり法人(広域連携DMO)として、関係省庁、地域(行政・観光協会・DMO)、観光業界及び観光関連団体をつなぎ、持続可能な観光地の形成を図っています。

これからも、沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献し、観光客のみなさまに深い感動と心身の充足を提供してまいります。

観光客数と観光収入の推移



※出所:観光客数は沖縄県「入域観光客統計」、観光収入は沖縄県「観光統計実態調査」
※観光収入は、平成18年度までは暦年の数値、平成19年度以降から年度の数値となっている。
※外国客には、特例上陸者を含む。

